



定一部金貳錢 廣五號十二休日曜大祭
 一月極三限リ 告五詰一行刊祝日ノ翌
 價一ヶ月廿錢 料五十錢 日一日活版所
 印刷所 常盤毎日新聞社

刊夕日一月五

高等遊民 (一)

中山雅司

放蕩徒に三十妻も持てず、疎狂容しく四十、家を成し得ぬ鼠輩は知らず、何事か當代に恨みを含み、いづれか今の世に相容れざる思想抱負を、腹のドン底に蓄へ狼りに開達を求めず名利を望はず、悠々又寛々、人知れぬ苦心惨憺を胸奥に書けども、眼の無い奴等からは通常のゴロ付同様、唯、高等の二字をせめての景品にこれを高等遊民とぬかす、所謂高等遊民の中にも、人物にピン、とキリは勿論ある、其質の甚だ良く無い奴

になると、社會に及ぼす悪影響は尠なからぬ、けれど大盗は貧乏人を泣かせない、諺に漏れず、たゞへ悪玉で決して社會に害毒を流すものではない

若しそれ志たまへば世に合はず、取れば取れる高碌吾れから捨てて、節の爲めに他く迄膝を屈げぬやうな硬骨鐵腸の浪人は、當世表面に飛び跳ねて居る才子才物よりは、反つて人間世間に取つて、大なる意味から観ての有用材でなければならぬ

物質的文明は國家の肉體を化粧し、精神文明は、國家の靈魂を洗淨す、而して國家の靈魂を洗淨する者は主として宗教家、教育家並びに其他の思想家である

併し今日生活の爲め止むなく執る拂子や、教鞭や、乃至又筆硯は自然去勢されて衷心抑へ難い大信仰、大思想、乃至大英氣に乏しい、是れ古今東西に渡りて救世主の多くは、名門大寺、これを出さず思想界の革命兒は學校の教員これを成し得たる談を聞かぬ所以である

しかも百世の下猶隨喜温仰の涙を以て迎ふる聖哲知識の多くが其當時の高等遊民であつたことに氣が付くものである

一冊の代金で御希望通り五冊の雑誌が自由に読める

平町長橋町三五
 川崎巡迴文庫
 (申込次第規則書進呈)

常磐文藝

小山戀人よ 吾郎
 戀人よ
 月のぼりました
 ぼんやりと遠い空際に
 何をそんなに泣いておるの
 ですか
 あなたの窓外にはこわれた
 壺が捨ててあります
 戀人よ
 月のぼりました
 何をそんなにかいておるの
 ですか
 白い紙はつきておるのに戀人よ
 月のぼりました
 何をそんなに見つめておるの
 ですか
 あなたの窓外には破れた壺が捨ててあります

高月會
 櫻餅
 千客に賣れぬ日はなし櫻餅
 牛城
 お針子の花見話やさくら餅
 鶏山
 吉野路や味も香もある櫻餅
 耕影
 さくら餅食ふて春をば知る
 心地 夢吉
 外つ國の飛行家につつ櫻餅
 紅陽
 送別の女寄宿やさくら餅
 牛玉

山古印醬油
 味美 經濟
 元造醸 鹽屋本
 店本屋鹽
 番七二話電

大勉強販賣

石山岩其他各種
 中造土木請負業
 外科……泌尿科
 皮膚梅毒 毒科
阿部醫院
 入院 平町字新川町
 隨意 電話五六七番

看護婦派出所

の求めに應ず
 平町南町
平看護婦會
 電話三〇七番

評判第一

久保田パン

靴と運動具を

運動のシーズン
 野球に庭球に
 オリンピックに
 是非大塚支店の
 運動用具を
 お進め致します

呈進表價定第次報一御

前驛町銀白平
店支塚大

實川醫院

産科 婦人科
 平驛前
 電話二七〇番

眼科

平町紺屋町 **吉田眼科醫院**

株式買中値

左記の値段は本日の標準値に付御用の節は御問合願候

銘格	拂込	時價
磐城銀行	五〇〇	五七〇
平銀行	五〇〇	七三〇
磐城銀行	一一五	一〇五
磐城銀行	三〇〇	二九五
田村實銀	一一五	一一五
四倉銀行	一七五	一七〇
農工銀行	二〇〇	二四五
同新	一一五	一八八
同新	五〇〇	五五〇
同新	一一五	一六〇
同新	一一五	一六〇
同新	一一五	九八
同新	一一五	三八五
同新	一一五	一八〇
同新	一一五	七三
同新	一一五	一五五
同新	一一五	一四〇
同新	一一五	五五
同新	一一五	六〇
同新	一一五	三五〇
同新	一一五	一三五
同新	一一五	二八〇
同新	一一五	二二〇
同新	一一五	二二〇
同新	一一五	三五〇
同新	一一五	一七〇
同新	一一五	一一〇
同新	一一五	四三〇
同新	一一五	一九〇
同新	一一五	六八〇
同新	一一五	三七〇
同新	一一五	八〇

東新株 先限
 前場後場共入電致居候
 平町田町 電話三三三番
丸登株式店
 川添房二郎

本縣候補者一覽

選挙区	職	氏名	年齢
第一區	元縣内務部長	田邊勝三	四六
第二區	元縣議員	大島要	四三
第三區	元縣議員	野村武彦	四二
第四區	元縣議員	野村武彦	四二
第五區	元縣議員	野村武彦	四二
第六區	元縣議員	野村武彦	四二
第七區	元縣議員	野村武彦	四二
第八區	元縣議員	野村武彦	四二
第九區	元縣議員	野村武彦	四二
第十區	元縣議員	野村武彦	四二

何處吹く風か

氣乗りのせぬ選挙

超越した星さん

金欠病の比佐さん

二言目には星は製薬王だ世界的實業家だと自畫自讃タツブリな御紹介に及ぶ石城政派も御本尊様が政黨政派を超越して……と乙に氣取つて居る爲めに幾分クダグツツたい思ひでワッショ、ワッショイと擔ぐ勢ひの鼻ツパンを折られ金城湯地も一場の夢物語に化し去つたかの感あつたが先日平町に於ける星氏の政見發表演説會が叩き壊されて以來これぢやならぬと始めて眼が覚め夫れからは不眠不休と迄は行かぬも幾分氣の乗つた調子で騒ぎ出しホラヤレ、ソラヤレと急に動き始めた一方憲派では軍資金が不足に告ぐるに不足を以つてし

常磐片々

本縣候補者一覽に依つて見ると最高齢者が大島要三君の六十六歳で最年少者は岡本寛君の卅六歳

官吏や官吏の古手が三名、新聞記者が一名農業を除いて實業家は八名辯護士二名本郡の比佐君は前回の選挙に雜誌記者とあつたが今度は農業にクラ替へ

一休何が生業なのだか
澤村神社例祭 石城郡草野村岸前に鎮座する郷

同村小學校に於て開き平署鈴木劍道師範係が審判として出張する筈

江名濱の地先を埋立

市街の發展を

石城郡江名町の船舶浚鑿工事も完全し、江名町は縣下唯一の遠洋漁業地として益々膨張發展してゐるが同町の主要部は皆直背に岩盤より成る山を負ひ直前は碧海に面してゐるので市街地の發展を阻害されて、豫て計劃中の漁業倉庫、漁夫共同長屋、共同魚市場、貯油場貯水場、修船工場等の設置敷地が無く調査中であるが項年地先の岩礁の一部を利し埋立を行ふ事に決定したので縣の船舶浚鑿工事より生じた掘鑿岩石を拂下て埋立工事に利用する意嚮である

豚コレラの豫防に努む

飼主に注意書

石城郡及び岩瀬双葉郡地方は昨年豚コレラ發生猖獗を

カテイラン

家庭副業に

推草の栽培(上)

まだ手引となるやうな本があまり見えませんが、ここに大體の栽培法を掲げて見ませう、まづ秋から冬にかけて木が落葉したとき推木またはナラ、クスギ等でも

極めたので縣當局では極力これが豫防に努めた結果漸く終息するに至つたが初夏の季節となり又切りに兆候があるのでこの際一層防遏の趣旨を徹底せしむる方針で同地方及び一般飼主に對して注意書を配付した

モシモシ

請求されて

夫れでも滞納

平局の通話料

平郵便局に於ける現在の加入者数は四百八十口であるが通話料並に使用料は期日までに納入するものは僅に三分の一で残り三分の二といふものは、いづれも怠納の状態である金額通話料は三萬八千圓、使用料は一萬四千圓に上つてゐるがこれは大部分料理屋、飲食店等で相當智識階級も怠納し電話で督促してもなか／＼徹底せぬため森局長は自ら各戸を訪問して納入方の交渉をなしてゐるほどで怠納率も縣下隨一で唯に電話料金のみでなく一般納税に於ても義務觀念が薄いこと甚だ

界マネキ

「黒き微笑」を上映名映畫捕への爲めに毎夜大入場の大盛況を呈した帝國館は再び巻土重來の勢を以つて明夜から實寫「ハエタ週報」舊劇「錦帯橋由來」時代劇「海ローマンス孤島の落人」映畫劇「黒き微笑」等を提供上場する事となつたが就中「黒き微笑」は帝キネ第一回試作の探偵活劇ものに於て若原専屬男女優百數十名出演し千變萬化の其畫面は必らず觀客の心膽を寒からしむべく又「絶海ロマン」孤島の落人」は實川延松湖みどり、嵐璃徳大活劇を演じ既に帝國に於て定評ある名映畫である

しいので憂慮されてゐる
平窪團旗樹立 石城郡平窪村青年團にては来る四日午前十一時から同校に於て團旗樹立式を舉行する
役場建物視察 伊坂町長は眞木囑託技師と共に役場建築視察の爲め今日中から東京府下瀧の川方面に赴く由

公人私人

宮田三朗氏(いばらき新聞營業部長)水戸市の自宅に架設した電話の番號が九七四番である爲め是れからクワンになる
栗城千代藏氏(平窪刑事部長)此程退職し好開村古河炭礦警務係長に就任
伏見彦衛氏(平町助役)風じやの爲め引籠治療中の處全快し本日から出勤

社澤村神社の例祭は今日一日であるが郷社昇格後の第一祭禮であるので地元青年は村芝居を催した

平商マラソン

業學校にては来る十日第四回の創立記念日である爲め平草野間往復七哩のマラソン競争を行ふ由

子鉄倉神社の

お祭り

大神樂の催し

平町縣社子鉄倉神社の祭禮は八日に執行する、筈であるが前日の宵祭りから境内に水戸大神樂の催あり平消防組も特に盛況を添ふべく

何等か適當な催しを試みんと寄々協議中である

養蠶組合役員

昨日決定した

石城郡養蠶同業組合創立總會は昨報の如くであるが同會の決定した役員左の如し
(組長)水野虎三郎(副組長)遠藤清一、和田甚内(評議員)高萩正一、樋口幸右衛門、赤津島次、佐藤倉治、大森又重、青木清太郎、高木龍海(支部長)中村立躬外卅二名

農事同窓會員

試驗場視察

毎月十五日に石城郡農事同窓會では去る

廿八日の臨時會に於て毎月十五日を期し同會の會員が神谷村なる農事試驗分場に赴き視察を爲し農事上の意見を交換すべく決した

不平受付

投書歓迎

私は一店員です毎日の様に停車場へ小荷物を出しに行くのですが係員の不親切からイッでも待たされ主人から用事が遅れると小言を云はれま

様な場合がありま、故意に受付を遅らす筈はないのですが尚ほ一層係員に注意をして置きます

平町人事

出生
山崎今之助氏長男博之
婚姻
新川町赤塚庄次郎氏(卅)飯野村鈴木マキ氏(三五)川前村永山ミツ子氏(三七)田町武田徳治氏(三三)石城郡平窪村明智ハナエ氏(三三)長橋町 大山ノブ(三五)
死亡
研町 當時北海岸岩見澤町水町文字(三〇)
白銀町 木下(三五)

新株前場引値(本社) 電報未着 先限